



## New! 新品種のご紹介

カネコ種苗(株)  
くにさだ育種農場

壺井 達矢

### 極晩抽性で 根形・品質に優れる、 春～初夏どり向け品種

## (カネコ交配) 春大慶 (KAD-201B)

ダイコン

マルチベたがけ～マルチ栽培、中間地・暖地ではトンネル～マルチベたがけ栽培に適します。

ややおとなしいです。  
ややおとなしいです。

根形は総太り型でよくそろい、尻詰まりは比較的ゆっくりと進みます。

生育途中の裂根や収穫時に生じるひび割れが少なく、歩留まりに優れます。

首色はやや淡い緑色、肌はなめらかで、ひげ根は細いです。

食味が良く、す入りは遅いです。  
萎黄病、バーティシリウム黒点病に比較的強いです。

春どり品種の中では比較的耐暑性に優れます。

### 栽培ポイント

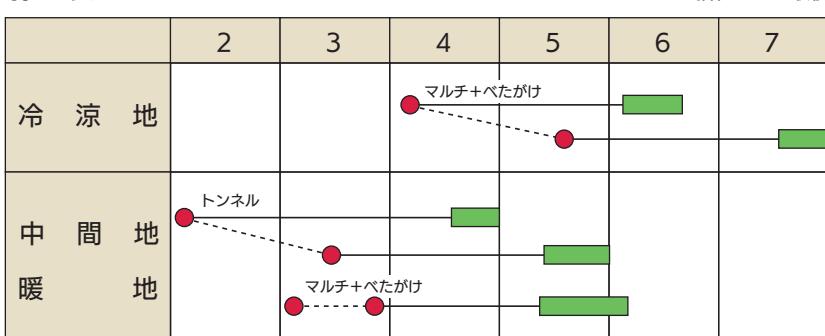
かねてより春～初夏どりのダイコン栽培は資材と技術が必要な難しい作型の一つでしたが、近年では天候不順の影響を受け、栽培の安定化がより難しくなっています。ダイコンは種子春化型（シードバーナリゼーション）であるため、播種後に低温を受けて花芽が分化し、その後の温度上昇により抽苔が進みます。そのため、近年では急な温度の低下・上昇を受けて抽苔が早く進み、収穫へ影

響を与える事例が増えてきました。また、例年にはないタイミングでの大雨などもあり、裂根等のこれまであまり問題とはならなかつた障害の発生も出てきています。

そこで当社では、晩抽性が安定し、障害が少なく栽培しやすい品種を開発しましたので紹介いたします。

- 春～初夏どりに向き、冷涼地では
- 亀裂褐変症などの肌の障害を予防するため、播種前の粒剤の施用や、本葉4～5枚頃からの定期的な殺菌剤の散布をおすすめします。
- 一般的に水のたまりやすい圃場ではダイコンの各種病害および肌の障害が発生しやすくなります。排水性の良い圃場にするよう深耕や

### 作型表



●: 播種 ■: 収穫

● 亀裂褐変症などの肌の障害を予防するため、播種前の粒剤の施用や、本葉4～5枚頃からの定期的な殺菌剤の散布をおすすめします。

● 一般的に水のたまりやすい圃場ではダイコンの各種病害および肌の障害が発生しやすくなります。排水性の良い圃場にするよう深耕や